

東構塾 5期第8回目の講習を行う
JFEの複合実験施設を見学



「THINK SMART」を見学

東京鉄構工業協同組合 (東構協) の若手経営者・

技術者育成プロジェクト、

「東構塾」(塾長 羽石良

一・建築鉄骨構造技術支

援協会常務理事)は8日、

第5期第8回目の講習と

してJFEスチール東日

本製鉄所京浜地区(川崎

市川崎区)の鋼構造材料

ソリューションセンター

「THINK SMART

T」の見学会を実施。塾

生ら16名が参加し、JFE

グループが研究・商品

化を進める鋼構造用鋼材の
先端的な利用・加工技術に
ふれた。

「THINK SMART

T」は、JFEグループ会

社が保有する最新の鋼構造

ソリューション技術を結集

した広域型オープンラボで、

土木・建築・橋梁といった

鋼構造分野で使用される鋼

材の利用・加工技術の研究

・展示を行う複合実験棟群。

京浜地区の材料加工棟、鋼

構造試験棟、薄板建材試験

棟、腐食・防食試験棟など

の施設を中心に、横浜市鶴

見区、千葉市稲毛区にも試

験設備を有する。

東構塾一行が最初に見学

した材料加工棟には主に建

築鉄骨用の鋼材が製品特徴

を説明するパネルとともに

展示されている。中でも東

京スカイツリー向け高強度

円形鋼管「P1500T」、

「P1630T」、JFE

スチールの厚板を母材とす

る高強度プレスコラム「G

385」、「PBCP44

0」、制震デバイス商品の

ピン接合型二重鋼管ブレイ

スが塾生らの関心を引いた。

そこではまた、特殊なワ

イヤを用いることでI形開

先・ルートギャップ5ミ
とレ形25度開先・同2ミ

の高エネルギー溶接施工を可能に

したCO₂アーク溶接法

「J-STAR Weld

ing」が紹介されており、

この狭開先溶接を適用した

柱-梁継手の見本を熱心に

観察。従来の溶接法(レ型

35度開先・同7ミ)とのコ

スト比較やロボット溶接時

の留意事項などについて盛

んに質問していた。

続いて塾生らは、鋼構造

試験棟で3MN構造物試験

機や引張試験機を、薄板建

材試験棟で住宅向け鉄骨ブ

レカット工法「JFEフレ

ームキット」の実物模型、

意匠鋼板を用いた各種金属

屋根材やボルトレスタイプ

の折板屋根材などを見て回

った。見学後、JFEスチ

ールの商品PRが行われ、

建築構造用熱間成形継目無

角形鋼管「JFEカクホッ

ト」の性能や製法上の特徴、

適用事例に関する説明を受

けたほか、羽石塾長の講話

を聴いた。

東構塾の第5期カリキュ

ラムは第8回目の講習をも

って終了する。第6期は秋

口をめどに開講する予定。

来期の塾長や勉強のテーマ

については運営主体の東構

協青年経営者委員会でこれ

から検討に入る。